



# 令和6年度 全日本通信珠算競技大会

主催 公益社団法人 全国珠算教育連盟

後援 文部科学省

## 大会趣意書

「読み・書き・そろばん」は古い時代から日本人にとって欠くことのできない常識であることを示す言葉です。さらに珠算が国民の社会活動に果たした貢献を物語るものでもあると思われま

す。その実用的な価値のほかに、近年、珠算を学習することにより、集中力・持続力・注意力などが養われ、算数や数学の基礎的な知識と技能を確実なものとする

ことが、実証的な研究によって報告されるようになりました。当連盟は、青少年の珠算技術の向上をはかるため昭和29年に“全日本珠算選手権大会”を創設し、珠算・暗算検定の高段位取得者で“そろばん日本一”が競

われています。この考えを拡張し、選手が居住地で参加できる方法として、“全日本通信珠算競技大会”を昭和31年に創設し開催し続けてまいりました。

この通信珠算競技大会により、参加選手の数は圧倒的に増加し全国的に珠算技術が飛躍的に向上することに貢献いたしました。

今年も下記の要項のとおり、小学校4年生以下・小学校・中学校・高等学校・一般の各部にわたって通信珠算競技大会を開催することになりました。多数のご参加を期待いたしております。

## 大会要項

1. 日時 令和6年10月 日( ) 時～ 時

2. 会場

3. 部別 小学校4年生以下の部・小学校の部・中学校の部・  
高等学校の部・一般の部

4. 参加資格 小学校4年生以下の部は、小学校4年生以下の児童及び幼児、小学校の部は、小学校5・6年生の児童、中学校の部は、中学校の生徒、高等学校の部は、高等学校の生徒及び高等専門学校3年以下の生徒とする。

団体総合競技に参加する者は、当該学校長の推薦を受けた者に限る。なお、幼児についてもこれに準じる。

団体総合競技は、在学学校所在地及び勤務先所在地の支部大会又は地区大会に参加するものとする。ただし、個人総合競技だけに参加する者は、居住地及びその隣接する支部又は地区大会に参加することができる。

5. 団体構成 団体構成は、小学校4年生以下の部・小学校の部・中学校の部・高等学校の部においては、同一学校、同一幼稚園、同一保育園、一般の部においては、同一学校・同一職場に在籍する者で大会前に登録された3名1チームのみの出場とする。ただし、一般の部においては珠算関係団体を除く。

6. 申込場所

7. 申込締切 令和6年 月 日

締め切り後の申し込みは受け付けない。

8. 参加料 不要

9. 種目及び程度

(1) 小学校4年生以下の部・小学校の部

かけ算 法実合わせて5けた～11けた 50題…5分

わり算 法商合わせて5けた～11けた 50題…5分

見取算 3けた～8けた

6口～8口(18字～60字の加算及び加減算) 50題…5分

見取暗算 1けた～5けた

4口～6口(6字～27字の加算及び加減算) 50題…2分

(2) 中学校の部・高等学校の部・一般の部

かけ算 法実合わせて6桁～12桁 50題…5分

わり算 法商合わせて6桁～12桁 50題…5分

見取算 3桁～9桁

7口～8口(25字～65字の加算及び加減算) 50題…5分

見取暗算 1桁～6桁

5口～6口(7字～30字の加算及び加減算) 50題…2分

10. 審査 1種目の満点を500点とする。

個人総合競技の成績は、4種目の合計得点の上位から順位を決める。同点の場合は、同位とする。ただし、1位については、決勝問題(かけ算10題・わり算10題・見取算10題を一括計算)によって順位を決定する。

団体総合競技の成績は、1組3名の合計得点の上位から順位を決める。同点の場合は、同位とする。ただし、1位については、個人総合競技の上位者のいる団体を上位とする。

11. 表彰

(1) 支部表彰

支部ごとに個人及び団体の総合成績によって、部別ごとに表彰する。

(2) 全国表彰

各支部からの報告によって団体及び個人全国順位を定めて部別ごとに表彰する。また、全国第1位の各部団体には文部科学大臣賞状及び個人には優勝杯その他を授与する。

12. 問い合わせ 本大会に関するいっさいの問い合わせは、本部又は支部事務所へご照会ください。